

令和 5 年 7 月 5 日
開 催 支 援 課

政府高官歓迎レセプションの開催について

1 目的

G7広島サミット開催に伴い、広島を訪れる各国等のサミット関係者の方々に対して、歓迎・おもてなしを行うとともに、広島魅力を発信する。

2 事業の概要

(1) 内容

広島食材を生かした料理や酒を提供するとともに、伝統芸能等の披露等によるおもてなしを行い、県内各市町のPRブースを設けて広島魅力を発信した。

(2) 日時

令和5年5月18日(木) 19:30~21:30

(3) 場所

広島コンベンションホール

(4) 出席者

161名

- ・各国等サミット関係者(37名)
フランス、アメリカ、ドイツ、インドネシア、ベトナム、国際エネルギー機関(IEA)
- ・国内参加者(124名)
県民会議会長・副会長、県民会議構成団体(顧問含む)、県選出国會議員、二国間交流団体

(5) 次第等

- ・主催者挨拶 湯崎知事(県民会議会長)
- ・乾杯 松井市長(県民会議副会長)
- ・アトラクション 鈴張神楽団
- ・中締め 池田広島県商工会議所連合会会頭(県民会議副会長)

その他、県内市町PRブースの設置や、広島PR動画の放映、上田宗篁氏と広島工業大学茶道部による茶道体験(茶室は広島工業大学とイギリスのラフバラー大学の共同制作によるもの)を行った。



贈呈品について

1 目的

各国首脳等へ県民会議から贈呈品をお渡しし、歓迎の意を表するとともに、広島の魅力国内外へ発信を図る。

2 事業の概要

(1) 贈呈対象

G7首脳、招待国首脳及び国際機関の長、先遣隊代表者

(2) 贈呈方法

G7首脳、招待国首脳及び国際機関の長については外務省を通じて県民会議からの贈呈品をお渡しし、先遣隊代表者に対しては県民会議主催の歓迎レセプションで県民会議から贈呈

(3) 選定基準

- ・広島県の歴史や文化、伝統を感じられるものであること
- ・SDGsの考え方に配慮したものであること

3 贈呈品について

(1) G7首脳、EU議長及び委員長宛て

① 広島サミット県民会議からの贈呈品

【品物】陶芸作品（花瓶）

【作品名】象嵌彩窯変 海老 花瓶

【制作者】今井政之（広島県名誉県民、文化勲章受章者）

【サイズ】幅 14cm 奥 14cm 高さ 23.5cm

【梱包】・有栖川文様の綿布（デザイン：今井政之氏）

・府中桐箱 …制作：浦上桐工芸(株)（府中市）

・阿字和紙 …制作：(一社)協和元気センター（府中市）



② 開催都市からの贈呈品

【品 物】 広島漆芸の作品（酒器セット）

【作品名】 伝（でん）

【制作者】 高山尚也

（「広島漆芸-高山尚也」として「ザ・広島ブランド」認定）

【サイズ】 片口 幅 17cm 奥 10cm 高さ 14cm

おちょこ 幅 6 cm 奥 6 cm 高さ 4.5cm

円板 幅 27cm 奥 27cm 高さ 1 cm



(2) 招待国首脳及び国際機関の長宛て（ウクライナ大統領にも本作品を贈呈）

【品 物】 玉鋼ペーパーナイフ

【作品名】 和永（わながく）

【制作者】 三上貞直

（広島県無形文化財保持者認定（日本刀製作技術）、無鑑査刀匠）

【サイズ】 全長 22cm（握り部分 10cm、刃先部分 12cm）

【梱 包】 ・府中桐箱 …制作：浦上桐工芸(株)（府中市）

箱書：〔表（作品名）〕 広島県立熊野高等学校芸術類型

書道コースの生徒（熊野町）

〔裏（作者名）〕 三上貞直氏自書

・眞田紐 …製造：(有)藤井リボン工場（福山市）

・手ぬぐい …製造（折り鶴レーヨン）：山本(株)（広島市）

デザイン：木版アートユニットポロンパ（北広島町）

型染め：(有)豊栄堂染工場（北広島町）



(3) 各国先遣隊代表者宛て

【品 物】 伊久馬ビアカップ つぼ型（大）

【製造元】 ㈱西井製作所（海田町）

【サイズ】 高さ 8.5 cm 口径 6.7 cm 容量 280ml



「G7広島サミット直前スペシャルスプリング」の実施について

1 目的

「G7広島サミット直前スペシャルスプリング」と題し、開催 50 日前（※50 日前：令和 5 年 3 月 30 日）を基軸に複数イベントを行うことにより、市民・県民がサミット開催地である広島に誇りを持ち、「オール広島」の一員として、開催に協力できるよう歓迎・開催機運の醸成を図る。

2 事業の概要

イベント	内容	期間	場所	実績
広島みなとフェスタ 2023	<ul style="list-style-type: none"> ・G7広島サミットPRブース出展 ・ご当地キャラクターステージショー 	3月18日 (土)・19日 (日)	広島みなと公園	イベント全体 75,000人 ブース来場 1,241人
G7ウェルカムコンサート & 物産展	<ul style="list-style-type: none"> ・学生によるG7参加国ゆかりの曲演奏、合唱、被爆ピアノの演奏など ・広島県内産品とG7参加国の輸入食材販売 ・G7広島サミットPRブース出展 	3月21日 (火)	シャレオ中央広場	イベント全体 3,000人 ブース来場 136人
カープフェスティバル「鯉祭り」	<ul style="list-style-type: none"> ・G7広島サミットPRブース出展 ・大型ビジョン広告・抽選会、チラシ配布などの球場内PR ・テレビ特番(RCC)への出演 	3月26日 (日)	マツダスタジアム	イベント全体 22,805人 ブース来場 423人
旧市民球場跡地オープニングイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・トークショー「野村謙二郎×佐藤寿人が広島愛を語る」 ・県内学生による書道パフォーマンス ・G7広島サミットPRブース出展 	3月31日 (金)～4月2日 (日)	旧広島市民球場跡地「ひろしまゲートパークプラザ」	ステージ観覧 850人 ブース来場 1,809人
広島サミット県民会議期間限定ショップ「UCHIRA」開設	<ul style="list-style-type: none"> ・「広島県内産品推薦リスト」掲載特産品販売、地域PRコーナー(パンフレット設置・サインエージ放映)の設置などによる地域PR ・パネル展示等によるサミットを学ぶ・参加するコーナー設置 	3月31日 (金)～5月7日 (日)	旧広島市民球場跡地「シメントひろしま」のC棟2階の一部	来場 40,292人
#HIROSHIMAミライバトン」	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージでの音楽ライブ・ダンス等のパフォーマンス ・ドローンショー ・G7広島サミットPRブース出展 	5月4日 (木)	広島広域公園内	来場 11,774人 メタバース参加 450人 ブース来場 456人

おもてなし・歓迎機運の醸成に向けた応援する取組・協賛等について

1 目的

G7広島サミット開催に向けて、企業・市民団体等がサミットに絡めて実施するG7広島サミットを応援する取組や、県民会議事業等への協賛を募集するとともに、県内で行われるイベントにブース出展し、サミット開催をPRすることにより、オール広島でのおもてなし・歓迎機運を醸成し、サミットに対する理解促進を図る。

2 事業の概要

(1) 事業の概要

① G7広島サミットを応援する取組

企業や市民団体等が主体となって実施する、県民会議が基本方針として掲げる5つの柱に関連する取組を募集

※ 5つの柱とは、「開催支援」、「おもてなし」、「平和の発信」、「広島の魅力の発信」、「ポストサミットを見据えた若者の参画」

② 県民会議事業等への協賛

県民会議主催事業や広島県や市町等との連携事業において活用する物品や役務、技術等の提供を通して協力する取組を募集

※ ①応援②協賛として認定した事業については、県民会議ロゴの使用許可、HP等での広報協力を行うほか、サミット終了後に記録誌に掲載予定。

※ ①②の事業期間

【募集期間】令和4年9月14日(水)～令和5年4月30日(日)

【取組実施期間】令和4年9月14日(水)～令和5年5月21日(日)

③ 連携イベントでのPR

県内で行われるイベントと連携し、パネル展示、資料配布等を行うことにより、サミットの概要やサミットが広島で開催されることの意義等を、市民・県民へ周知する。

ア 県内自治体等が実施するイベントへの出展

イ 民間主催の大型イベントへの出展

ウ 商業施設等でのイベントの開催や出展

(2) 最終応募状況

令和4年9月14日(水)から募集を開始し、認定し、公開することに同意がある取組を県民会議ホームページにて公開中。

○ G7広島サミットを応援する取組 2,045件応募

【主な取組】

- ・ラグビーの試合会場においてサミットのぼりを掲示
- ・飲食店で広島県産食材を使用したサミット応援フェアを開催
- ・幼稚園において、G7参加国の挨拶の言葉を学ぶ活動を実施
- ・小学校において、外国の方々にお勧めしたいお土産セットを英語で紹介する取組を実施

- ・ 自社商品にロゴ入りステッカーを貼付
- ・ 応援メッセージを掲載したのぼりの製作や特注横断幕の掲示
- ・ 県民会議公式PR動画のサイネージ投影
- ・ 事務所等に県民会議公式ポスターを掲示
- ・ 自社で開発した「G7各国代表メニュー」を学校給食・事業所給食・給食卸へ提案
- ・ クリーンアップ活動へ参加
- 県民会議事業等への協賛 69件認定
 - 【主な内容】
 - ・ 自社飲料を計288本提供
 - ・ 折り鶴レーヨンを使用したハンドタオル10個を提供
 - ・ 県民会議が行う事業に、被爆バイオリンを貸与
- 連携イベント 115件
- 出展イベント
 - ① 概要
 - ・ ブース内アクティビティ参加者：延べ10,603人
 - ・ ブース内でのSNSのフォロー：1,663人
 - ・ アンケート回収数：2,791人
 - ② 県内自治体等が実施するイベント
 - ・ 第10回平和首長会議総会（10/19～20）
 - ・ 南区安全・安心まちづくりフェスティバル（11/3）
 - ・ 市民平和文化イベント（11/3）
 - ・ 国際フェスタ（11/20）
 - ・ 安芸地区交流まつり in イオンモール広島府中（1/21）
 - ・ 第21回ビジネスフェア中四国2023（2/1～2）
 - ・ 南区防災訓練・防災フェア（2/26）
 - ・ 大和ミュージアム（3/11）
 - ・ i-sore FUCHU（4/8）
 - ・ 第7回庄原さくらフェスティバル（4/9）
 - ・ 第14回フラワー王国せら高原夢まつり（4/15）
 - ・ 第80回尾道みなと祭（4/29）
 - ・ 安芸太田町神楽協議会設立記念神楽共演大会（4/30）
 - ・ 道の駅 舞ロードIC千代田（5/3）
 - ・ 三次もののけミュージアム（5/5）
 - ③ 民間主催の大型イベント
 - ・ ツーリズムEXPOジャパン2022（9/22）
 - ・ ひろしまフードフェスティバル（10/29～30）
 - ・ 中国新聞レディースクラブSTORY（11/16）
 - ・ 広島空港祭り（12/11）
 - ・ 広島銀行での展示（12/14～15）
 - ・ HIROSHIMA マチナカ HAPPY CHRISTMAS（12/17～18）
 - ・ ちゅーピー住宅展示場（1/8）
 - ・ 天皇杯 第28回全国男子駅伝（1/22）
 - ・ 第28回 広島輸入車ショー2023（1/28～29）

- ・広島ドラゴンフライズ・サンロッカーズ渋谷戦（2/5）
- ・ゆめタウン廿日市（2/18）
- ・ゆめタウン東広島（2/25）
- ・ゆめタウン福山ポートプラザ（3/4）
- ・ゆめタウン吉田（3/18）
- ・小谷サービスエリア（3/18、19）
- ・HIROSHIMA GATE PARK FESTA（3/31～4/2）
- ・カープ公式試合（4/21）
- ・サンフレッチェ広島公式試合（4/22）
- ④ プレイベント（事業番号18）によるブース出展
 - ・広島みなとフェスタ（3/18）
 - ・G7 ウェルカムコンサート（3/21）
 - ・鯉祭り 2023（3/26）
 - ・#HIROSHIMA ミライバトン（5/4）

花を活用したおもてなしの実施について

1 目的

事業者や地域団体など、市民・県民の協力を得て、県内の花壇等にガーデンピック及び広島市内中心部に歓迎ボードを設置することにより、サミットに関わる来訪者を歓迎するとともに、市民・県民の機運醸成及びサミットの開催周知を図る。

2 事業の概要

(1) ガーデンピックの制作・配布

県内全域の花壇等に設置してもらうため、開催を周知するロゴ入りのガーデンピックを制作し、各市町へ配布（大サイズ 2,540 個、小サイズ 3,045 個）。

(2) 歓迎ボードの製作・設置

3月に平和記念公園に歓迎ボードを設置し、4に同ボードの花を広島市内（希望のあった 27 校）の小学生等が育てた花に植替え。

【ガーデンピック設置例】



【小学生への花苗配布の様子】



【歓迎ボード】



クリーンアップ活動について

1 目的

G 7 広島サミットの開催に向けて、県民会議構成団体や企業・団体等に対して清掃活動を促進することにより、来訪者へのおもてなし機運の醸成を図る。

2 事業の概要

G 7 広島サミットに向けた清掃活動実施を呼びかけるとともに、取組について、広く発信する。

- (1) 令和 5 年 4 月 24 日（月）、広島商工会議所と連携してキックオフイベントを実施し、構成団体や企業・団体等に、清掃活動を呼びかけ。
- (2) 趣旨に賛同した企業・団体等の取組は、県民会議公式ホームページや SNS で紹介
- (3) 希望する企業・団体等へノベルティ（幟やタスキ等）を提供

（概要）

項目	内容
企画名	「ここから世界へ、ここから未来へ クリーンアップ運動」
取組期間	令和 5 年 4 月 24 日（月）～令和 5 年 5 月 17 日（水）
参加対象	取組趣旨に賛同する企業・団体・個人
キックオフイベント	実施日：令和 5 年 4 月 24 日（月） 内 容：県民会議、商工会議所の職員が、商工会議所ビルや原爆ドームの周辺を清掃 参加者：104 名
募集方法	・構成団体に参加を働きかける文書の送付 ・SNS やプレスリリースによる周知 ・ホームページを介した募集
ノベルティ	県民会議が幟及びタスキを作成して取組参加申込者に配付

- (4) 応募状況
218 件

3 その他

広島県環境県民局環境保全課と「GREEN SEA瀬戸内ひろしま・プラットフォーム」の参画企業が実施する清掃活動（2、3月）、広島市環境局業務第一課が実施する「ごみゼロ・クリーンキャンペーン」（4月）の取組と連携し、広島サミット県民会議から、参加者へノベルティ（缶バッジ・タスキ・G 7 広島サミットぬりえ）を提供した。

通訳案内士及び交通事業者向け研修について

1 目的

サミットの概要や案内に役立つ英会話などの情報を得られる環境を整えることで、来訪するサミット関係者及び訪日外国人の受入態勢を整える。

2 事業の概要

(1) 通訳案内士（全国通訳案内士、地域通訳案内士）研修

地域通訳案内士フォローアップ研修等の広島県観光連盟（HIT）事業と連携し、通訳案内士の研修における情報提供

（内容）

研修の冒頭で、県民会議事務局からサミットの概要や広島開催の意義についてスライドショー形式で説明

（実施状況）

- ・地域の魅力発信の強化及び周遊促進の研修（1月10日（火）・11日（水））
- ・地域通訳案内士フォローアップ研修（1月14日（土））

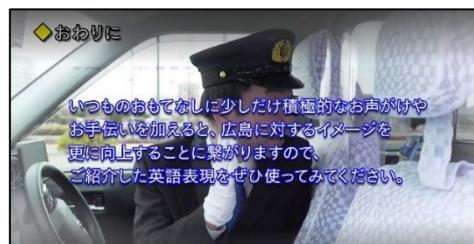
(2) 交通事業者に対する情報提供

① 必要な情報提供と個別研修

- ・サミットの概要やオンデマンド配信について周知
- ・サミットの概要や英会話など、事業者側の希望に応じた個別研修を実施（3月22日（水））

② オンデマンド配信

- ・サミットの概要（開催概要、広島開催の意義など）や、案内に役立つ英会話の表現などを動画にまとめ、インターネット上で期間を定めてオンデマンド配信（3月17日（金）～）



(オンデマンド配信動画の一部)

広島サミットカウントダウンボードの設置等について

1 目的

G 7 広島サミット開催の周知を図るとともに、地元の歓迎機運を高めることを目的として、県内の交通結節点等にカウントダウンボードを設置し、来訪者や市民・県民等の目に触れる場所で開催までのカウントダウンを行う。

また、主な交通結節点等へ設置するカウントダウンボードの製作にあたっては、県内の高校でデザインや工業技術を学ぶ生徒にも参加してもらい、若い世代にサミットへの関心を持っていただくとともに、歓迎機運の醸成を図る。

2 事業の概要

(1) 高校生による自主製作 7 校 (計 7 台)

- ① 仕様等 目安：高さ 180cm×幅 90cm×奥行 60cm
② 製作高校及び設置場所

	製作	設置場所	設置日	撤去日
ア	県立広島工業高等学校	広島空港	R4. 12. 11	R5. 5. 25
イ	県立宮島工業高等学校	宮島口旅客ターミナル	R4. 12. 18	
ウ	市立広島工業高等学校	広島バスセンター	R4. 12. 23	
エ	県立福山工業高等学校	JR 福山駅	R5. 2. 5	R5. 5. 23
オ	県立府中東高等学校	府中市役所	R5. 2. 8	
カ	県立総合技術高等学校	JR 三原駅	R5. 2. 12	
キ	県立呉工業高等学校	大和ミュージアム	R5. 2. 18	

③ その他

設置時には除幕式を実施した。

学校の協力を得て、製作過程についても、取材対応を行った。

高校生による自主製作カウントダウンボードについては、撤去後、各高校へ寄贈した。

(2) デジタルサイネージ 15 台

- ① 仕様等 50 インチ縦型
② 設置場所 広島県庁、広島市役所、区役所、宇品旅客ターミナル、国際会議場 等
③ 設置期間 令和 5 年 1 月 23 日 (月) ~ 令和 5 年 5 月 27 日 (土)
④ その他 令和 5 年 4 月下旬に、おもてなし動画、観光魅力動画 (広島県観光連盟作成) の追加を行った。

(3) 卓上型 110 個

- ① 仕様等 卓上型の日めくりボード
② 設置場所 県民会議構成団体事務所
③ 設置期間 令和 5 年 1 月 24 日 (火) ~ 令和 5 年 5 月

歓迎バナー等について

1 目的

G7広島サミット開催の周知を図るとともに、地元の歓迎機運を高めることを目的として、県庁、市役所、区役所へ大型看板及び懸垂幕を設置する。

加えて、交通量の多い道路や交通結節点付近に歓迎バナー等を設置するほか、首脳会合の会場付近に街路灯バナーを設置し、参加国首脳及び関係者等へ歓迎の意を表する。

2 事業の概要

(1) 大型看板

設置場所：県庁前

設置期間：令和 5 年 1 月 16 日（月）～

5 月 23 日（火）

（令和 5 年 3 月 29 日（水）～

4 月 10 日（月）の間一時撤去）

内 容：G7 広島サミットの説明、
開催日、ロゴ等



写真：大型看板（県庁前設置）

(2) 懸垂幕

設置場所：県庁、広島市役所、市内各区役所

設置期間：令和 5 年 1 月 23 日（月）、24 日（火）～5 月 23 日（火）

※広島市役所のみ 4 月 3 日（月）に設置

内 容：「G7 広島サミット」、開催日、ロゴ

(3) 歓迎バナー

① 街路灯バナー

掲出場所：平和大通り、鯉城・城南通り、元宇品臨海線、
二葉通り、空港通り

掲出期間：令和 5 年 3 月 23 日（木）～5 月 25 日（木）

② アーケード幕

掲出場所：本通り、金座街

掲出期間：令和 5 年 3 月 30 日（木）～5 月 22 日（月）

③ 吊り下げバナー

掲出場所：紙屋町シャレオ南北通り

掲出期間：令和 5 年 4 月 22 日（土）～5 月 21 日（日）



(アーケード幕デザイン)



(街路灯バナーデザイン)

路面電車・バス・タクシー・旅客船のラッピングについて

1 目的

G7広島サミット開催に向け、開催の周知と歓迎機運を高めることを目的として、路面電車及び県内を運行するバス、タクシー、旅客船の車体ラッピングを行う。

また、路面電車及びバスのラッピングデザインについては、県内の高校に参加してもらい、若い世代にサミットへの関心を持っていただくとともに、歓迎機運の醸成を図る。

2 事業の概要

(1) 車体のラッピング

① 路面電車

対象車両：1台（5両編成）

運行会社：広島電鉄(株)

運行当初は2号線（広島駅～宮島線）、その後、令和5年4月20日（木）より1号線（広島駅～広島港）を中心とした運行に切り替え。

② バス

対象車両：7台

運行会社：広島電鉄(株)、広島バス(株)、広島交通(株)、中国ジェイアールバス(株)、芸陽バス(株)、(株)フォーブル、エイチ・ディー西広島(株)

③ タクシー

対象車両：200台

運行会社：広島第一交通(株)、つるみ第一交通(有)、はと第一交通(株)、平和第一交通(株)、広交タクシー(株)、つばめ交通(株)、(有)カープタクシー、鯉城タクシー(株)、鯉城交通(株)、(有)エンゼルキャブ、(株)宝塚かもめタクシー、(有)広三自動車、(株)NISIKI タクシー、広島近鉄タクシー(株)、(有)ドリーム交通

④ 旅客船

対象船舶：38隻

運行会社：(株)アクアネット、(有)金輪島会、上村汽船(株)、JR西日本宮島フェリー(株)、瀬戸内シーライン(株)、瀬戸内海汽船(株)、瀬戸内海クルーズ(株)、似島汽船(株)、(有)バンカー・サプライ、宮島松大汽船(株)

(2) デザイン

① 路面電車・バス

県内の高校（県立、広島市立、私立の計13校）においてデザイン制作（路面電車：6校、バス：7校）

② タクシー・旅客船

G7広島サミット開催日程、国のロゴ及び県民会議公式ロゴを配置

(3) パネル展

ラッピングデザイン、公式ロゴ、カウントダウンボードを作成した高校等の取組を紹介するパネルを作製し、県内各市町を巡回するパネル展を実施。

パネル展終了後、車体ラッピングのデザイン校及び協力いただいた運行会社へ展示パネルを贈呈。

3 その他

車内への広告掲示等についても、各社の協力を得て実施

① 路面電車 電停広告、車内広告への協力

② バス バス停広告、車内広告への協力

③ タクシー ステッカーを車内へ貼付

【Smile for Peace Project】写真募集・モザイクアート制作について

1 目的

市民・県民を中心に歓迎の気持ちや平和を願うヒロシマの思いをメッセージボードに掲げた写真を募集 (Smile for Peace Project) するとともに、応募写真をモザイクアートにし、新聞掲載や、県民会議が主催・参加するイベントで展示することにより、G7サミットで広島を訪れる首脳等を歓迎する広島市民・県民の機運醸成を図る。

2 事業の概要

(1) 募集内容

歓迎の気持ちや平和を願うヒロシマの思いをメッセージボードに掲げた写真

※「広島らしさ」「広島の魅力」「平和のイメージ」が伝わる写真に、歓迎メッセージを加工して加えた画像も可
例：「折り鶴」「ハト」「広島の風景」「家族や友人との団らん」など

(2) 募集期間

令和 4 年 11 月 19 日 (土) ~ 令和 5 年 4 月 2 日 (日)

※一次締め切り：令和 4 年 12 月 31 日 (土) (2 月 8 日 (水) の中国新聞朝刊に掲載)

※二次締め切り：令和 5 年 4 月 2 日 (日) (5 月 18 日 (木) の中国新聞朝刊に掲載)

(3) ちゅーピー子どもウェブ「ぶんタッチ」との連携

中国新聞社が運営する子供向けのウェブサイトと連携した取組とし、サミットについて学べるページを作成

(4) 応募方法

ぶんタッチ (中国新聞社のウェブサイト) 内の応募フォームより応募

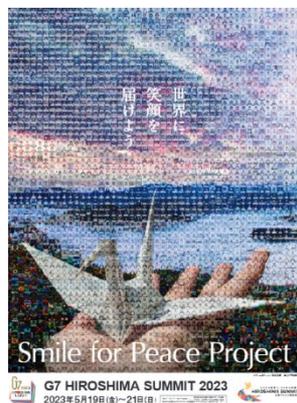
(5) モザイクアートについて

ア 第一弾 (2 月 8 日 (水) 中国新聞朝刊掲載) 3,024 件の写真を使用

イ 第二弾 (5 月 18 日 (木) 中国新聞朝刊掲載) 6,237 件の写真を使用

(6) その他

国際メディアセンター内の広島情報センターで展示した他、サミット参加国の大使館 (EU 代表部含む) へ贈呈。



第一弾



第二弾

各国首脳等による平和記念公園訪問の実施支援

1 目的

G7広島サミットの公式行事である各国首脳等による平和記念公園訪問について、外務省を始めとした関係各所との調整など、行事の円滑な実施を支援する。

2 事業の概要

(1) 立入制限等の周知

サミット開催期間中の平和記念公園の立入制限等について、全国の旅行代理店等への周知に加え、旅行の出発点等（東京駅等）でのポスター掲示等により旅行者に周知を行った。

(2) 行事の実施支援

行事の設営作業等を担当する外務省や事業者に対し、必要な手続の案内やその補助、担当部署への取次などを行ったほか、行事当日の原爆死没者慰霊碑における碑文の説明や献花の介添えに係る調整、記念植樹の手配など、実施の支援を行った。

【参考】行事实績

(1) G7首脳

- ・日 時：5月19日（金）午前
- ・実施内容：平和記念資料館訪問、原爆死没者慰霊碑への参拝・献花、植樹

(2) 招待国首脳・国際機関の長

- ・日 時：5月21日（日）午前
- ・実施内容：平和記念資料館訪問、原爆死没者慰霊碑への参拝・献花

(3) ウクライナ大統領

- ・日 時：5月21日（日）午後
- ・実施内容：平和記念資料館訪問、原爆死没者慰霊碑への参拝・献花、会見



原爆死没者慰霊碑献花の介添え



松井副会長による碑文の説明

被爆楽器を活用した演奏会の開催

1 目的

言語の壁を越えて思いを伝えることの出来る音楽を、原爆の惨禍をくぐりぬけた被爆楽器で演奏することで、平和な世界を希求するヒロシマの心を世界に発信する。

2 事業の概要

以下の機会において、被爆ヴァイオリン及び被爆ピアノを活用した演奏会を実施した。

(1) G 7 各国在京大使館視察グループ歓迎レセプション

- ア 日時 令和 5 年 2 月 8 日 (水)
- イ 場所 グランドプリンスホテル広島
- ウ 対象 日本を除く G 7 各国大使館代表者、EU 代表者など
- エ 参加人数 23 名
- オ 内容 広島交響楽団メンバーによる弦楽四重奏の演奏 (被爆ヴァイオリンを活用)

(2) G 7 サミットウェルカムコンサート&物産展

- ア 日時 令和 5 年 3 月 21 日 (火・祝)
- イ 場所 紙屋町シャレオ中央広場
- ウ 対象 一般住民 (来場者)
- エ 来場者数 3,000 人 (コンサート・物産展の来場者総数)
- オ 内容 学生などによる演奏 (被爆ピアノ)



G 7 各国在京大使館視察グループ
歓迎レセプション



G 7 サミットウェルカムコンサート
&物産展

令和 5 年 7 月 5 日
平和・若者参画推進課

海外メディアの招へい

1 目的

G7サミット開催地として、国内外から広島への注目が集まる機会を捉え、サミット参加国の主要紙等に働きかけを行い、広島で取材を行い、被爆の実相や広島の復興などを発信する。

2 事業の概要

(1) 対象メディア

G7各国（日本を除く）の主要紙等

(2) 取材先

メディア等の希望を考慮しつつ、被爆の実相、原爆の惨禍から復興した広島、若い世代の平和の取組などのテーマに関連する取材先を決定

3 実施事業

- ・米国（メディア名は先方希望により非公表）
〈日程〉3月31日（金）
〈取材先〉会長（知事）インタビュー、被爆体験講話ほか
- ・英国／ガーディアン（東京支局）
〈日程〉4月20日（木）～21日（金）
〈取材先〉被爆体験講話、被爆遺構等を巡るサイクリングツアー、平和記念資料館、広島銀行、大和ミュージアム（呉市）、ちんちくりん（お好み焼き店）、副会長（市長）インタビュー、中国新聞ジュニアライター
- ・フランス／ル・モンド（東京支局）
〈日程〉5月1日（月）～2日（火）
〈取材先〉平和記念資料館、被爆体験講話・被爆伝承者インタビュー、平和記念公園VRツアー、三宅本店（呉市）、盛川酒造（呉市）、副会長（市長）インタビュー
- ・ドイツ／フランクフルター・アルゲマイネ・ツァイトウング（東京支局）
〈日程〉5月7日（日）～8日（月）
〈取材先〉グランドプリンスホテル広島、ユースピースボランティアによる平和記念公園案内、被爆遺構を巡るウォーキングツアー、平和記念資料館、被爆体験講話、副会長（市長）インタビュー、広島電鉄
- ・報道実績：6件（5月31日（水）時点）



フランス／ル・モンドによる取材③
（平和記念公園VRツアー）



英国／ガーディアンによる取材
（被爆体験講話）

国際メディアセンターにおける広島の情報発信について

1 目的

広島サミットに訪れる報道関係者を通じて広島が多様な魅力や平和への取組を国内外に広く発信し、認知度向上を図る。

2 事業の概要

(1) 概要

国が県立総合体育館に設置する国際メディアセンター（以下「IMC」という。）等に「広島情報センター」を開設（実施主体：広島サミット県民会議）し、広島が多様な魅力の発信、県内23市町のPRや平和に係る広報展示等を実施した。

(2) 設置期間

令和5年5月18日（木）～22日（月）

(3) 場所と主な内容

区 分	主な内容
県立総合体育館 本館地下1階通路	広島の魅力発信する5つの展示ブース
県立総合体育館 スポーツ情報センター	被爆の実相に触れるための平和展示ブース
県立総合体育館 大アリーナ1階回廊等	県内23市町別の展示ブース等
県立総合体育館 サンクンガーデン	広島の実演、試食等
ひろしまゲートパークプラザ 大屋根ひろば	神楽や書道などのパフォーマンス 県内市町のPR

(4) コンセプト

広島で生きる人々が、過去から引き継いだモノ・技術を環境や自然を守りながら未来につなぐ姿、故郷を大切に思う心、平和を希求する心、そして、被爆から復興する原動力となった不屈の精神を体現する現在の広島の姿、広島歴史、人々の想いを世界へ発信する。

(5) コンテンツの選定方針

県・市町等からの出展希望リストのコンテンツを参考に、広島歴史や人々の想いと、Products（モノ・技術）、Environment（環境）、Heart（心）、Peace（平和）、Resilience（回復力）という5つのキーワードが合致するものを選定する。

(6) 主な発信内容

○ 展示ブースによるPR

市町等から提案のあったコンテンツから、テーマに即した実物展示やパネル展示、デジタル映像等を活用した発信を実施

区 分	展示テーマ
魅力発信ブース	「広島伝統工芸」「広島心」「広島技術」 「広島環境」「広島食と酒」
平和関連ブース	「被爆・復興・未来へ」

○ 大型モニターを活用した観光PR

おもてなし動画、各市町等提供の観光PR動画 等

- 体験スペース
神楽衣装の展示・試着・記念撮影、お茶席体験 等
- 広島への食の試食・試飲、実演
 - ・ 和牛や牡蠣、お好み焼などの県産食材を使ったメニューの実演試食
 - ・ 日本酒やワイン、ノンアルコール飲料等の提供
 - ・ 広島への和菓子の制作パフォーマンス 等
- 県内 23 市町観光 P R 回廊
グリーンアリーナ 1 階の入口の回廊に、23 市町それぞれの P R ブースを設置し、各市町がオリジナリティあふれる展示を実施
- ひろしまゲートパークプラザでのステージ P R
神楽や書道パフォーマンスなどの伝統芸能の実演を実施するとともに、希望のあった市町のステージ P R を実施
- 平和展示（被爆・復興・未来へ）
被爆の実相への理解を深めていただくため、パネル展示に加え、広島平和記念資料館所蔵の被爆資料等を展示。また、復興の歴史や現在の平和への取組などを紹介するとともに、被爆体験講話を計 3 回実施。

(7) 出展コンテンツ

(URL : https://www.chugoku-np.co.jp/stp/Ad/exhibition_of_hiroshima/)

展示カテゴリー（テーマ）	主なコンテンツ
広島への伝統工芸	伝統的工芸品 等
広島への心	錦鯉（生体）、広島盆栽 等
広島への技術	先端技術やオンリーワンのモノづくり技術の紹介等
広島への環境	海洋プラスチックゼロに向けた取組紹介 等
広島への食と酒（試食・試飲コーナー）	日本酒、地ビール、ワイン、県産米おにぎり 等
広島情報センター以外の試食・試飲 （サンクンガーデン・プレゼンテーションブース）	和牛、牡蠣、お好み焼 等
体験スペース	甲冑や神楽衣装の試着体験、お茶席体験 等
県内 23 市町観光 P R 回廊 （大アリーナ 1 階入口）	各市町企画の展示
ステージパフォーマンス （ひろしまゲートパークプラザ大屋根ひろば）	神楽、花田植、書道パフォーマンス、市町プロモーション 等
被爆・復興・未来へ	被爆資料 等

(8) 来場者数等

延べ 50,327 名（うち外国人 4,967 名）

※ 2(3)の場所（サンクンガーデン除く）についてそれぞれ集計

県民会議主催プレスツアー等による魅力発信について

1 目的

サミットの開催地として世界から広島に注目が集まるこの機会を活用し、在京の外国メディアに対しプレスツアーを実施するとともに、(公財)フォーリンプレスセンターへプレス向け情報の提供を行い、海外向けの報道を通して、広島の魅力や平和のメッセージを世界へ発信する。

2 事業の概要

(1) プレスツアー

① 対象

外国メディアのうち日本に駐在している記者。専門は政治経済として
いる記者が多い。(記者は1回あたり最大10名程度。)

② 回数

3回

③ 取材先の選定

報道機関による参加率、ならびにより多くの報道・記事化につなげるため、過去のサミットや国のツアー実績等で知見のある委託事業者と共に、各回の主なテーマを設定し、テーマに沿った取材先を選定する。なお、選定に際しては、市町からのコンテンツ提案の内容を参考にした。

(参考：ツアーのテーマ)

回数	主なテーマ・分野
第1回	産業や環境分野を中心に構成
第2回	食や伝統、文化なども含めて構成
第3回	平和を中心に構成

第1回プレスツアー概要

テーマ：産業、環境

日程	取材先
2月7日 (火)	株式会社スピングルカンパニー (府中市)
	恋しき (昼食) (府中市)
	カイハラ株式会社 (福山市)
	株式会社キャステム (福山市)
2月8日 (水)	カーボンリサイクル実証研究拠点 (大崎上島町)
	株式会社今田酒造本店 (東広島市)
	株式会社サタケ (東広島市)

- ・参加メディア数 10社 (1社1名参加)
- ・メディアの所在の国 8カ国・地域
(台湾、トルコ、韓国、ドイツ、フランス、ベトナム、香港、中国)
- ・報道実績：25件 (5月31日(水)時点)

第2回プレスツアー概要

テーマ：文化、食

日程	取材先
3月24日 (金)	株式会社小西養鯉場 (広島市)
	オコスタ (広島市)
	公益財団法人 上田流和風堂 (広島市)
	せとうち7サミット (広島市)
3月25日 (土)	広島神楽 (広島市の会場で上演)
	株式会社ファームスズキ (大崎上島町)
	株式会社岩崎農園 (大崎上島町)

- ・参加メディア数7社 (1社1名参加)
- ・メディアの所在の国は 6カ国・地域
(香港、フランス、台湾、イギリス、中国など)
- ・報道実績：1件 (5月31日(水)時点)

第3回プレスツアー概要

テーマ：平和

日程	取材先
4月25日 (火)	おりづるタワー (広島市)
	元祖へんくつや総本店 (広島市)
	被爆者インタビュー (広島市)
	広島市長インタビュー (広島市)
	広島平和記念資料館 (広島市)
4月26日 (水)	広島電鉄株式会社 (広島市)
	株式会社マルニ木工 (廿日市市)
	崇徳高等学校 新聞部 (広島市)
	広島市立基町高等学校 創造表現コース (広島市)

- ・参加メディア数11社 (1社1名参加)
- ・メディアの所在の国は 8カ国・地域
(スペイン、ベトナム、トルコ、中国、台湾、香港、フランスなど)
- ・報道実績：50件 (5月31日(水)時点)

(2) フォーリンプレスセンターを活用したPR

① 情報提供の方法

- ・プレスリリース配信 (E-mail)
- ・フォーリンプレスセンターHPへの掲載

<プレスリリース配信先>

- ・日本語での情報提供を希望している在日外国メディア 213件
- ・英語での情報提供を希望している在日外国メディア 219件
- ・英語での情報提供を希望している在日外国大使館 211件(動画紹介のみ)

② 情報提供の内容

- ・G7広島ジュニアサミット会議の取材案内
(3月17日(金)配信、3月20日(月)HP掲載)
- ・動画紹介(おもてなしメイキング動画・HIT制作動画)
(5月10日(水)配信・HP掲載)

令和 5 年 7 月 5 日
平和・若者参画推進課

外務省主催プレスツアーの実施

1 目的

外務省が主催するメディア招へいの広島取材の機会を捉え、広島魅力を世界に発信する。

2 事業の概要

(1) 対象メディア

外務省が招へいした海外メディア

(2) 取組内容

サミット期間中に外務省が招へいした海外メディアに対して、被爆都市広島、広島の文化や歴史などを紹介し取材調整等を行った。

3 実施事業

- ・スリランカ、モンゴル、クック諸島、アルゼンチン、メキシコ、カザフスタン、サウジアラビア、トルコ、フィリピン、南アフリカの 10 か国 10 名のペン記者
〈日程〉5月17日(水)～18日(木)
〈取材先〉大聖院・厳島神社(廿日市市)、平和記念資料館、ユースピースボランティアによる平和記念公園案内、オコスタ、被爆体験講話
- ・UAEのTVチーム
〈日程〉5月18日(木)
〈取材先〉平和記念資料館、ユースピースボランティアによる平和記念公園案内、被爆体験講話
- ・マレーシアのTVチーム
〈日程〉5月19日(金)～21日(日)
〈取材先〉神楽門前湯治村(安芸高田市)、山末神社での神楽鑑賞(北広島町)、Wood Egg、被爆遺構を巡るサイクリングツアーガイドインタビュー(株式会社 mint)
- ・ケニアのTVチーム
〈日程〉5月21日(日)～22日(月)
〈取材先〉宮島(廿日市市)、小学校での平和教育(広島市立落合小学校)、平和記念資料館、被爆体験講話
- ・報道実績：3件(5月31日(水)時点)



ペン記者による取材
(大聖院)



UAEのTVチームによる取材
(平和記念公園)

在外日本大使館における天皇誕生日祝賀レセプション等でのPRについて

1 目的

G 7 各国の政府関係者、国会議員、報道関係者等が日本の在外公館に集う天皇誕生日祝賀レセプション等の機会を捉え、G 7 広島サミットのPR動画の放映や県産品の展示等を行い、主要国の人々にサミット開催PRを行うとともに、広島の魅力を発信し広島の知名度向上を図る。

2 事業の概要

(1) 日時等

PR実施公館	レセプション開催日
在英国日本大使館	2月7日(火)
在カナダ日本大使館	2月13日(月)
在米国日本大使館	2月14日(火)
在ドイツ日本大使館	2月28日(火)
在イタリア日本大使館	3月23日(木)
在フランス日本大使館	3月29日(水)

(2) 出展物

- ・広島の特産品の提供(広島の地酒、広島産ノンアルコール飲料、焼き菓子等)
- ・サミットPR動画、おもてなしメイキング動画、広島の魅力発信動画上映
- ・観光案内リーフレット配布 等

(3) 開催の様子



【在英国日本大使館】



【在米国日本大使館】

(4) その他

在米国日本大使館主催の全米さくら祭りレセプション(令和5年4月11日(火)開催)へも出展し、広島の魅力をPRした。

県民会議ホームページ・SNSの運用について

1 目的

県民会議ホームページ及びSNS（ツイッター、フェイスブック）を開設し、県民会議の活動状況や、G7広島サミットに関する情報を発信することで、県民、市民、来訪者、事業者等へ広く情報提供を行うとともに、サミットへの理解促進や機運醸成を図る。

2 事業の概要

(1) 掲載情報等

〈ホームページ〉令和4年9月14日（水）開設

- ・広島開催の意義、県民会議の概要、県民会議での取組報告、応援する取組・協賛等の募集や紹介、広島への来訪者向け情報、プレスリリースなどを掲載。
- ・多言語（英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語）。
- ・サミット開催約1ヶ月前から、開催に伴い予想される影響（交通規制、施設への立入規制、公共交通機関の運休など）を一覧表に取りまとめ掲載。
- ・サミット開催期間中は、主に、サミットの開催内容について掲載。

〈SNS〉令和4年8月19日（金）開設

- ・県民会議の活動状況（イベントでのブース出展の告知、メディア出演情報等）やG7サミットに関する豆知識等を発信。
- ・広島サミット開催200日前から前日までのカウントダウン投稿を実施。
- ・サミット本番の様子については、外務省のSNSにて投稿されたものをリツイート、シェアして発信。また、広島情報センターの様子を発信。
- ・交通規制の周知及び交通総量抑制の協力依頼を行うとともにサミット期間中の交通規制については、広島県警察のツイッターにて投稿されたものをリツイートして発信。

(2) アクセス状況等

〈ホームページ：PV数〉

総PV数・・・1,216,261PV（開設日から6月13日（火））

一日あたりの最多PV数・・・75,832PV（5月17日（水））

〈SNS：フォロワー数〉

ツイッター2,711人、フェイスブック948人

SNSの投稿にあたっては、内容により広島県、広島市などによるリツイート等を行っている。

〔 広島県フォロワー数 ツイッター177,864人、フェイスブック 28,000人
広島市フォロワー数 ツイッター 33,040人、フェイスブック 5,403人 〕

※いずれも6月14日（水）時点のフォロワー数

行政広報誌によるPRについて

1 目的

G7広島サミットの開催にあたり、市民・県民等へ対して、開催周知、機運醸成に係る取組の紹介、サミットについての理解促進を図るとともに、交通規制等の情報を提供する。

2 事業の概要

(1) 掲載内容

- ・ G7広島サミットの開催周知
- ・ 県民会議の取組内容（応援する取組、ラッピング電車等）
- ・ 交通総量抑制対策への協力依頼
- ・ アフターサミット実施状況の報告 等

(2) 掲載実績

① 県広報誌（ひろしま県民だより）

令和4年 10月号

令和5年 1月号、4月号、7月号

※1月号には、サミットの特集記事を掲載

※掲載内容は発行時期に応じて調整

② 広島市広報誌（市民と市政）

令和4年

10/1号、10/15号、11/1号、11/15号、12/20号

令和5年

1/1号、1/15号、2/1号、2/15号、3/1号、3/15号、4/1号、4/15号、

5/1号、5/15号、6/1号、6/15号

※12/20号には、サミットの特集記事を掲載

※掲載内容は発行時期に応じて調整

③ 広島市を除く県内市町の広報誌

令和4年12月～令和5年1月 18市町で掲載【開催周知】

令和5年2月～3月 15市町で掲載【理解促進】

令和5年4月～5月 10市町で掲載【交通総量抑制対策】

プレス用ガイド情報について

1 目的

海外メディアや政府関係者を含む国内外からの来訪者が広島で過ごすにあたって必要な情報や、広島情報センターで発信する魅力情報等をWEB上に掲載することとし、外務省において制作されるメディアハンドブックとも連携を図る。

2 事業の概要

(1) 提供方法

県民会議HPに掲載

(2) 内容

項目	掲載内容
広島県の交通機関	路面電車、路線バス、広島空港リムジンバスの乗り方、運賃、乗り場、所要時間等
お役立ち情報	HIROSHIMA FREE Wi-Fi、外貨自動両替機、交通ルール、チップ、消費税等
こんなときは	緊急時の連絡先（警察、救急・消防、訪日外国人向けに病気・災害など非常時のサポートを行う日本政府観光局のコールセンター等）
その他	G7広島サミット開催に伴う平和記念公園・宮島への影響、交通機関の運行などについて案内

(3) 他媒体との連携

- ・海外プレスへ配布した「飲食店ガイド」（冊子）に一部情報を掲載するとともに、WEBへの案内（QRコード）を掲載
- ・交通結節点等に設置したインフォメーションセンターで案内
- ・外務省メディアハンドブック（WEB）から案内（リンク）

飲食店ガイドの制作について

1 目的

G7広島サミットのタイミングで来訪される海外の報道関係者や警察官等の国内のサミット関係者に対し、安心して広島ならではの食などを楽しめる中心市街地の飲食店の情報や観光情報を掲載した2種類のガイドを作成・配布することにより、広島の魅力の発信や、観光消費額の増加、将来的な観光需要の喚起を図る。

2 事業の概要

(1) 各国の報道関係者向けのガイド

インバウンド対応等が可能な店舗やG7各国の料理等を提供する店舗を紹介したほか、広島滞在中に役立つ観光情報等を掲載した。

- ・掲載店舗数：31 店舗

(インバウンド情報等を発信する地元英語メディア「GetHiroshima」を運営するポール・ウォルシュ氏と連携して作成)

- ・作成部数：5,000 部
- ・配布先：国際メディアセンターや交通結節点に設置したインフォメーションカウンター、メディア向け宿泊施設等
- ・WEBへの掲載：Google マイマップを活用し県民会議HP上に店舗情報を掲載

(2) サミット関係者向けのガイド

広島ならではの食が楽しめる店舗等を紹介するほか、広島滞在中に役立つ観光情報を掲載した。

- ・掲載店舗数：108 店舗（広島県生活衛生同業組合連合会等と調整し選定）
- ・作成部数：25,000 部
- ・配布先：サミット関係者へ配布する記念品と一緒に配布

G7 広島サミットPR動画の制作について

1 目的

PR動画を制作し、G7サミットの広島開催を市民・県民等に周知するとともに、歓迎機運醸成等を広く図る。

2 事業概要

(1) 広島サミットPR動画

①コンセプト

市民・県民等に広く広島サミットの開催意義を伝える

②放映場所等

県内各所の数多くのサイネージ、セミナーや会議時、また県公式YouTubeチャンネル（視聴数 417,601 回（6月15日（木）現在）、広島情報センター等で幅広く放映

加えて、多くの県民会議構成団体や企業の協力を得て、

- ・広島駅南北自由通路
- ・グランドプリンスホテル広島
- ・広島銀行各支店の店頭モニター

など 約 222 箇所放映



(2) おもてなしメイキング動画

サミット開催に向けた機運醸成として実施される県民会議事業等について、準備の様子や事業実施・完了時の映像を撮影し、「広がる・高まる！活動と意識」と「思いをつむいで」を作成

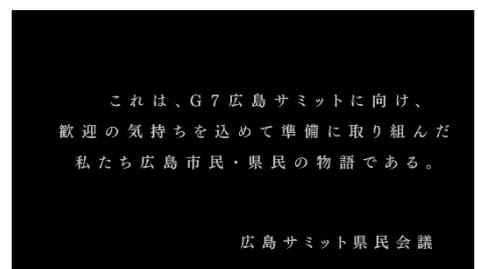
① コンセプト

- ・「広がる・高まる！活動と意識」

サミット開催に向けて「オール広島」で取り組んだ成果を県民と共有することで、県民の達成感・歓迎機運の醸成を図る。

- ・「思いをつむいで」

広島を訪れる方に対して、熱意をもってサミットに向けた準備に取り組んでいる様子（広島のおもてなしのこころ）を示すことで、広島の魅力発信を図る。



② 配信方法等

交通結節点や商業施設等のデジタルサイネージ、ホームページ、SNS、県公式YouTubeチャンネル（日本語版 1,342 回、英語版 537 回（6月2日（金）現在）、広島情報センター、各国在京大使館先遣隊歓迎レセプション、在外公館天皇誕生日祝賀レセプション等において放映



※ビジョンでは主に1分動画を、サイネージでは主に15秒動画を放映。

ポスター等の掲示物の制作について

1 目的

PRポスター等を作成し、G7広島サミットの開催を市民・県民等に周知するとともに、歓迎機運醸成等を広く図る。

2 事業の概要

(1) 内容

「開催周知」「理解促進・機運醸成」「注意喚起・協力依頼」「規制情報発信」の内容で期間を区切り、それぞれの期間に応じたポスター等を作成。

- ・「開催周知」…第1弾ポスター、第1弾チラシ
- ・「理解促進・機運醸成」…第2弾ポスター、リーフレット
- ・「注意喚起・協力依頼」…第3弾ポスター、第2弾チラシ
- ・「規制情報発信」…第4弾ポスター

(2) 作成枚数等

- ・第1弾ポスター 13,900枚
- ・第2弾ポスター 17,900枚
- ・第3弾ポスター 12,400枚
- ・第4弾ポスター 1,500枚
- ・リーフレット 25,000枚
- ・第1弾チラシ 123,000枚
- ・第2弾チラシ 15,000枚

(3) 配布先

広島サミット県民会議構成団体、広島サミットを応援する取組の認定企業・市民団体等、県内小・中高等学校、交通事業者等

【第1弾ポスター】



【第2弾ポスター】



【第3弾ポスター】



【第4弾ポスター】



【第1弾チラシ】



【第2弾チラシ】



サミットに合わせて来訪する警察関係者への魅力発信について

1 目的

サミットに合わせて来訪する全国の警察関係者へ、県産品を活用した記念品及び観光情報等を提供することにより、広島の魅力を発信し、再来訪につなげる。

2 事業の概要

【記念品の作成・配布】

- ・ノベルティ（千羽鶴再生和紙を使用した折り紙及び被爆樹木がデザインされたポストカード）とメッセージカードをセットにした記念品を作成



- ・メッセージカードに観光情報が掲載されたサイトの QR コードを記載するとともに飲食店ガイドを同封する等、広島の魅力を発信
- ・広島県警と調整し、4～5月に各部隊へそれぞれ配布（22,450 個）

G7 広島サミットジュニア会議の実施

1 目的

未来を担う若者が、国際的な諸課題やその解決に向けた取組などについて理解を深めるとともに、困難な課題にもチャレンジ精神を持って取り組むようになる契機とする。

2 事業の概要

(1) 主催

広島サミット県民会議

(2) 開催期間

令和 5 年 3 月 27 日(月)～3 月 30 日(木)

(3) 開催場所

主会場：広島県広島市

(4) テーマ

「平和」、「持続可能性」、「多様性」の 3 つを設定

(5) 参加者

日本国内在住の G 7 各国(日本以外)出身の高校生 12 名(各国 2 名)

広島県在住の日本人高校生 12 名

(6) プログラム

ア 事前プログラム(令和 5 年 2 月～3 月)

オンラインによる事前学習プログラム(専門家による講義やディスカッション等)を実施(計 4 回)

イ 当日プログラム



成果文書発表会

月日	主なプログラム内容
3 月 27 日(月)	参加者広島市集合、オリエンテーション
3 月 28 日(火)	被爆の実相について理解を深めるプログラム(平和記念資料館見学、慰霊碑参拝・献花、被爆体験証言聴講等)、ディスカッション
3 月 29 日(水)	県内視察 ※各グループとも、現地学生との交流プログラムあり (平和グループ) 大久野島毒ガス資料館等(竹原市) 高校生との交流(呉市) 等 (持続可能性グループ) カーボンサイクル実証研究拠点等(大崎上島町) バイオマス発電施設(広島市) 等 (多様性グループ) 広島大学等(東広島市) 筆の里工房(熊野町) 等 地元交流 酒蔵見学等(東広島市)
3 月 30 日(木)	ディスカッション、成果文書の発表 (一般公開予定)

ウ 東京プログラム(令和 5 年 4 月 5 日(水))

参加者代表の 6 名が、湯崎会長と共に首相官邸を訪問し、会議の成果文書を岸田総理大臣に提出

サミット関係施設の見学（アフターサミット見学会）

1 目的

次世代を担う県内小・中・高等学校生等に G 7 広島サミットの現場を肌で感じていただくこと及びサミット開催に係る県民の皆様のご協力への感謝のため。

2 事業の概要

- (1) 実施主体
外務省と広島サミット県民会議の共催
- (2) 対象
元宇品地区・宮島地区の住民、学校関係者、県内住民、関係者（IMCのブース出展者、県民会議構成団体等）
- (3) 開催期間
令和 5 年 5 月 24 日(水)～5 月 27 日(土)
- (4) 内容
 - ・サミット講座（10 分程度）
 - ・広島情報センター、政府広報展示スペース（屏風プロジェクションマッピング含む）、円卓・サミット関連展示の見学（50 分程度）
- (5) 来場者数
1,333 名



サミット講座



円卓・サミット関連展示

広島サミット記念コーナー（仮称）の設置について

1 目的

G7広島サミットを一過性のものとせず、将来に向けて、市民・県民が広島に誇りを持ち、広島魅力を再発見する機会とするとともに、未来を担う次世代を中心に国際問題への関心を持ち、国際感覚を涵養する機会とするため、広島サミット記念コーナー（仮称）を設置する。

2 事業概要

(1) 展示内容

首脳会議で実際に使用された円卓やロゴオブジェ、サミット関連のパネル等を展示予定



（ワーキングディナーで使用された円卓）



（G7広島サミットロゴオブジェ）

(2) 設置場所

広島市内に設置予定

(3) 設置時期

未定

令和 5 年 7 月 5 日
総 務 課

広島サミット県民会議への寄附について

1 目的

広島サミット県民会議の取組を金銭的に応援したいという方の受け皿として寄附を受け付ける。

2 概要

- (1) 受付窓口：広島県
- (2) 受付期間：令和4年10月19日（水）～令和5年5月31日（水）まで
- (3) 寄附金額：一口1,000円以上
※ふるさと納税ポータルサイト利用の場合、一口2,000円以上
- (4) 寄附実績：寄附件数：41件、寄附金額：14,986,000円

受納日	名称	寄附金額(円)
令和4年 11月7日	【非公表】	【非公表】
11月14日	松島 美樹	【非公表】
11月16日	尾三地方森林組合	5,000,000
11月18日	株式会社サンモール	100,000
11月25日	【非公表】	【非公表】
12月9日	中間公認会計士事務所	【非公表】
12月1日	吉田 正子	【非公表】
12月23日	社会福祉法人ひろしま 四季の会	【非公表】
12月28日	JTB協定旅館ホテル 連盟広島支部	300,000
12月28日	株式会社日本旅行 中国営業部	1,000,000
12月29日	湯浅 茂雄	10,000
令和5年 1月4日	株式会社三翔堂	【非公表】
1月4日	広島ディスプレイ協会	【非公表】
1月10日	株式会社JTB広島支店	【非公表】
1月10日	一般社団法人広島イベン ト事業振興協会	【非公表】
1月17日	株式会社ガイアート 中国支店	100,000
1月20日	株式会社フレスタ	【非公表】
2月3日	藤田工産株式会社	【非公表】
2月6日	浜毛保漁業協同組合	【非公表】
2月7日	有限会社五エ門	10,000
2月8日	損害保険ジャパン 株式会社	【非公表】

受納日	名称	寄附金額(円)
2月9日	株式会社ロジコム ホールディングス	【非公表】
2月17日	【非公表】	【非公表】
2月22日	中電技術コンサルタント 株式会社	【非公表】
2月28日	株式会社ひろぎん ホールディングス	1,000,000
3月14日	株式会社和広商会	200,000
3月14日	Lily	【非公表】
3月27日	【非公表】	【非公表】
3月28日	一般社団法人 広島県銀行協会	【非公表】
3月29日	近畿日本ツーリスト 株式会社	【非公表】
3月31日	NTT西日本中国支店	【非公表】
3月31日	【非公表】	【非公表】
4月20日	株式会社NTTドコモ 中国支社	【非公表】
5月8日	藤本 繁樹	【非公表】
5月23日	株式会社やまだ屋	300,000
5月26日	森 正則	10,000
4月22日	【非公表】	【非公表】
5月14日	【非公表】	【非公表】
5月29日	小松 亨	【非公表】
6月1日	行杏 孝浩	【非公表】
6月6日	株式会社なかやま牧場	40,000

※氏名、金額の公表に同意がある寄附者を掲載。同意がない場合は【非公表】と記載。

サミット波及効果等の調査について

1 目的

広島サミットの効果・影響を定量的に把握するため、経済波及効果及びパブリシティ効果の算定を行う。

2 事業の概要

(1) 経済波及効果

① 広島サミット開催に伴う直接的な経済波及効果

サミット関連事業の経費として、国、広島県、広島市、その他県内市町の予算及び民間投資のうち、県内外における直接的な需要増加額を測定し、産業連関表を用いて、「直接効果」「間接一次効果」「間接二次効果」の3段階に分けて試算する。

② ポストサミットの経済波及効果

県内外観光客数の増加見込み、国際会議の開催件数の増加見込みの2つの要素で試算する。

(2) パブリシティ効果

令和4年5月1日(日)から令和5年5月31日(水)までの間において、次の調査対象に取り上げられた広島サミットに関する記事や番組等を広告料金で換算する。

【調査対象】

① 日本国内における調査

検索キーワード「広島」and「サミット」が含まれる首都圏、関西圏、中国圏の主要な新聞、雑誌、テレビ及びWEBの記事や番組

② 海外における調査

検索キーワード「Hiroshima」and「サミット(各国の言語)」が含まれるG7各国及び、オーストラリア、中国、香港、台湾、韓国、タイ、シンガポールの13か国(地域)の主要な新聞、雑誌、テレビ及びWEBの記事や番組

3 スケジュール

令和5年秋頃 試算結果を公表

記録誌の制作について

1 目的

広島サミットの記録・記憶を後世に引き継ぐため、サミットの誘致段階から開催までの取組をとりまとめた記録誌及びその概要版を作成する。

2 事業の概要

(1) 記録誌の制作

広島サミットの概要及び県民会議事務局、県・広島市の取組、県内 22 市町・企業等と連携した取組等を記載する。

【構成イメージ】

序 章：会長、副会長及び顧問の挨拶

第 1 編：サミット概要

第 2 編：広島サミット開催に向けて（誘致、推進体制など）

第 3 編：県民会議等の取組（県民会議、県・広島市の取組、警備、消防、保健医療、市町の取組、ポストサミット）

第 4 編：予算・決算

資料編：各種規約、応援・協賛・寄附一覧、県産食材等活用リスト、経済波及効果・パブリシティ効果の算定など

(2) 概要版の制作

記録誌の記載内容を要約した概要版を製作する。

(3) 記録誌及び概要版の活用

- ・ 完成した原稿の PDF データをホームページに掲載する。
- ・ 製本印刷した記録誌及び概要版は、県民会議構成団体等、支援者（寄附者・協賛事業者・応援事業者、各事業協力団体等）の一部、関係公的機関等に配付する。

3 スケジュール

6 月～9 月 原稿作成・校正、入札・契約

10 月 レイアウト・色校正・校了

11 月～12 月 印刷製本・納品・配送